

わたしの おぎくぼ

発行：荻窪地域区民センター協議会 〒167-0051 杉並区荻窪2-34-20 ☎3398-9127 FAX 3398-9128
ホームページ <https://ogikubokyougikai.sakura.ne.jp/>
荻窪地域区民センター 杉並区荻窪2-34-20 ☎3398-9125 【休館日】第2・4月曜日と20日・12/28～1/4
本天沼区民集会所 杉並区本天沼2-12-10 ☎5310-4633 【休館日】第1・3月曜日・12/28～1/4

第29回



アットホームな「おまつり」を楽しもう! 本天沼集会所まつり



杉並産野菜販売・
花販売・綿菓子・
ポップコーン・ジュース

★開催日：令和5年2月26日(日)
★時間：午前10時～午後3時
★会場：本天沼区民集会所

骨強度・血管・肌年齢測定
(対象年齢20才以上)

苗木で募金
10時10分～



ひな壇飾り
撮影コーナー



催し物

- ヒップホップダンス ●大人の音楽クラブ キーボードピアノ
- 母親クラブつくしの人形劇「きつねのあだ討ち」



※新型コロナウイルス感染症対策のため、水分補給を除き館内は飲食禁止です。

主催：荻窪地域区民センター協議会

これからのスケジュール

- 1月21日(土)～3月19日(日) パネル展示
「荻窪の記憶V～エピソード・発展と変貌」
会場：郷土博物館分館西棟1F 展示室

2月

- 20日(土) 二期会メソッドピアノ歌手
ひらやすかつしが歌う日本の歌と世界の歌
- 5日(日) 「地域懇談会」
- 26日(日) 「本天沼集会所まつり」
会場：本天沼区民集会所

3月

- 14日(土) 広報紙「わたしのおぎくぼ」
No.362 4月・5月号発行
- 31日(日) 「総集版 荻窪の記憶」発行
- 31日(日) 「荻窪地域区民センター協議会
活動報告21号(令和三年度・四年度)」発行

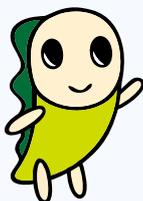
4月以降

- 4月14日・28日・5月12日・19日(日)
「ハーモニーを楽しむヴォイストレーニング」
- 4月21日(日) 「善福寺の四季」第4回春
集合場所：善福寺公園上の池ポート乗場
- 4月25日(木) 「定期総会」
- 5月26日・6月2日(日)
「正しく学ぼう」ラジオ体操
- 5月27日(月)
「季節の草花の寄せ植え(洋風)」
- 5月30日(木) 広報紙「わたしのおぎくぼ」
No.363 6月・7月号発行

※イベント・講座等は変更になることもあります。
※会場が明記されていないものは全て、会場は荻窪地域区民センターです。

※問い合わせ先 ●事業企画部 ●地域交流部

●広報部 ●総務部



※本紙発行後にスケジュールが変更になる場合があります。最新予定は当協議会ホームページでご確認ください。



近隣の高等学校訪問
第8回



幸せを培う学校 東京都立農芸高等学校



高校紹介の第8回は農芸高校の小堀卓二(こほり・たくじ)校長をお訪ねしました。

★「農業学習は幸せ学習です」

こんな言葉で小堀校長の学校紹介は始まりました。

都立農芸高校は明治33年(1900年)に創立、内田秀五郎氏により現在地に招致されました。今年創立122年を迎えた当高校には全日制課程に園芸科学科、食品科学科、緑地環境科の3科と定時制課程に農芸科があり、「誠実、勤勉、自主、協調」を綱領に掲げています。園芸科学科では、種時から収穫の苦勞、そしてそれを「美味しい」と言ってもらう幸せ、食品科学科では素材から様々な工夫をして食品を完成させ、喜んでもらう幸せ、緑地環境科では協力し合って庭を造る達成感とそこを訪れる人に幸せを感じてもらう喜び。生徒たちはそういう幸せを共有しつつ、社会人として必要な構えを学んでいます。

★充実した施設と環境

それぞれの科の実習棟のほか、圃場、果樹園、温室など、校地の広さは東京ドーム1.6個分。

温室ではバナナやコーヒーなどの熱帯の植物も育てています。また、草花、野菜などの生産品を販売する売店もあります。

そして都立高校では唯一の馬術部があり、厩舎で2頭の馬を飼育しています。関東高等学校自馬競技大会で優勝を果たしました。



馬術部

★地域社会への貢献

園芸科学科ではJR阿佐ヶ谷駅前花壇、都庁の都民広場での植栽を行っています。食品科学科は有楽町の交通会館で「交通会館マルシェ」に出店しました。また「とうきょう総文2022」ではラベルデザインも行ったブルーベリージャムがおもてなし品として配布されました。緑地環境科では日比谷ガーデニングショーに出展したり、交通会館のテラスに庭を作ったりとそれぞれ地域社会と関わり、様々な貢献をしています。地



緑地環境科 卒業庭園

域の方や企業の方との打ち合わせも多いので、話し方や接客などを実践的に学ぶことができます。

★農・食・環境のスペシャリストの育成

緑地環境科の2年生全員が技能士「造園3級」を受験します。その他、初級バイオ技術者認定試験、食生活アドバイザー、農業技術検定など様々な資格取得に向けて学習します。日本学校農業クラブ全国大会の農業鑑定競技会では優秀賞を受賞しました。

★進路

大学、専門学校への進学率は約7割、就職が約3割です。それぞれが「自分の得意」を活かして進路を決めています。大学のスポーツ推薦(馬術部)を受けて入学した生徒もいます。昨年度、東京農大へは12名の受験者全員が合格しました。また、就職も3年間の蓄積を土台にして、職業を決めています。宮内庁の造園部に就職した生徒もいます。面接で自分の経験をきちんとPRできるように面接練習もしっかり行っています。



食品科学科 シュークリーム実習



園芸科学科 ナシの摘果

★校長先生の思い

「自然は自分の思い通りにならない」。人生の多感な時期に、命と自然を相手にする農業学習の中で成功や失敗を経験し、社会で自立する力と自分のための種を蒔いて、育て、収穫してほしい。1人1人が自分の人生の主役です。

東京都立農芸高等学校

住所: 〒167-0035 杉並区今川3-25-1

TEL: 03-3399-0191 FAX: 03-3399-3996

ホームページ: <http://www.nogei-h.metro.tokyo.jp>

開催案内

武蔵野の自然探訪「善福寺の四季」第4回

武蔵野三大湧水池の一つである善福寺池の植物を中心にした自然を四季にわたって観察します。

〈第4回 春〉～新緑の木々と草花～

コナラ、クヌギ、コブシ、ヤナギなどの若葉や春咲きの草本の観察

★開催日時: 4月21日(金)午後1時30分～4時頃 ★定員: 15名 ★参加費: 200円

★申込締切: 4月9日(日)

★講師: 元東京農工大教授 星野義延 / 東京環境工科専門学校講師 星野順子

※参加を希望される方はP4の「講座などのご案内」を読み、往復はがき、またはメールにて参加申込をお願いします。



星野順子先生(左)と星野義延先生(右)

「荻窪の記憶」

こぼればなし

春木家と女将の話

いまでは荻窪の春木家というと、青梅街道沿いの「中華そばの春木屋」を思い浮かべる人が多いと思いますが、これは、同じ青梅街道沿いでも現在の東京衛生病院入口信号前に店を構え、「中国料理のレストラン」として地域の人々に親しまれていた春木家の話です。話を聞かせてくださったのは、平成16年に閉店するまで半世紀近くにわたって、女将として、亡くなられたご主人とともに、店を支えてきた今村富美枝さん（81）です。

筆者がはじめて富美枝さんをお見掛けしたのは、六、七年前のことですが、和服ときびきびとした物腰が下町の雰囲気を漂わせ、荻窪にもこんなご婦人がいるのかと、新鮮な印象を受けた記憶があります。その印象の通り、富美枝さんは築地の生まれ。19歳で、昭和2年創業の当時は蕎麦屋だった春木家に嫁ぎました。

下町から山の手に嫁いできたわけですが、すぐに新しい環境に溶け込めたのは、武蔵野湯という銭湯のお陰だったといえます。当時、荻窪でも商店には内風呂がなく、銭湯を利用していため、銭湯が町の社交場になっており、それが下町とそっくりだったからです。その頃の春木家は、蕎麦のほか、かつ丼もカレーもラーメンも出すという店で、千軒以上のお得意を抱え、注文の半分が出前でした。朝から、ひっきりなしに注文の電話が鳴り、終電のお客が帰ったあとで銭湯に行くと、すでに掃除がはじまっているという、忙しい毎日を送ったといえます。

しかし、当時の日本は高度成長の真最中、春木家もご主人の発案で、本格的な中国料理を出すファミリー向けのレストランを目指し、大改革を行います。昭和40年のことでした。店を会社組織にし、職人を入れて粉から研究して看板の餃子を開発。従業員も最盛期には二桁になりましたが、その教育も女将の役割で

言葉遣いも、所作も、「私を見て、真似をすればいい」という実践的なものでした。

本格的な中華が家で食べられれば、嬉しいものです。筆者と一緒に富美枝さんの話を聞いたメンバーのなかにも、「子供の頃、春木家さんの出前ではじめてカニ玉を食べた」という女性がいましたが、そんな思い出をもつ人が天沼や清水には少なくないようです。当時、店から一番遠い出前先は清水三丁目にある沓掛小学校でしたが、その先生がはじめて来店し、ラーメンを食べて言った言葉は「いつものソバと違う」。それまで出前で伸びた麺しか知らなかったからです。

清水に住んでいた将棋の大山名人もお得意さんで、餃子が好物だった名人は、よく容れ物をもって店まで買いにきたそうです。ご主人の頼みに応え、将棋を教えにきてくれた名人に、「先生、将棋に勝つ方法は？」と聞くと、答えは「強い相手とはやらないこと」というものでした。

「人が好き」「商売が好き」という富美枝さんは、「商売はやっぱり女将」「第一線でしっかり働かせていただきました」と半生を振り返り、いまでも町会長をつとめるなど、地域のために忙しく活動されています。



今村国治・富美枝ご夫妻(中国料理 春木家にて)

「荻窪の記憶」プロジェクト 松井和男

イベント報告

マルシェ&ハロウィン子どもまつり



10月30日(日)、「マルシェ&ハロウィン子どもまつり」を当センターで開催しました(参加者は約500名)。1Fでは苗木で募金、杉並新鮮野菜の販売に加え、今年は綿菓子・ポップコーンの体験型の販売を行い大人気でした。2Fでは、ハロウィンの仮装撮影会場や、子育て支援(ほっとサロン)を設けました。

また、荻窪高校から5名の高校生ボランティアと先生が参加し、協議会委員と一緒に会場の運営をしていただきました。



委員・先生もハロウィン仮装
ポップコーン売場



元気いっぱい兄妹で撮影
ハロウィン撮影会場

イベント報告

荻窪音楽祭

地域ふれあいアフタヌーンコンサート



吉久亜紀トリオ 吉久亜紀(vl.)
中鉢洋夫(gt.)、三浦トオル(bs.)



あきから 森下亜希子(vo.)
吉久亜紀(vl.)、富樫亜紀(vc.)

11月5日(土)の午後、荻窪音楽祭の自主企画として、恒例となった当協議会の「地域ふれあいアフタヌーンコンサート」が開催され、会場の当センター1Fの談話コーナーは70名の聴衆でほぼ満員の盛況となりました。第一部は「吉久亜紀トリオ」、力強い演奏が印象に残りました。第二部は「あきから」、女性3人のアキさんによる歌曲主体の演奏でした。一部・二部とも親しみのある曲目が並び、大好評でした。企画・演奏全般を通じてご協力いただきました吉久亜紀さんに御礼申し上げます。

講座などのご案内

※スケジュールが変更になった場合はホームページなどでお知らせします。

講座名	内容・講師	開催日・時間	定員	参加費	申込締切
ハーモニーを楽しむ ヴォイストレーニング	のどや舌の使い方を学び、お腹を使った正しい発声を身につけると心地よい歌声となります。皆さんで美しい合唱を楽しみましょう。 講師:安藤 操 (ヴォイストレーナー)	4月14日・28日、5月12日・19日 各金曜日(4回) 午後1時30分～3時30分	20名	200円	4月2日(日)
武蔵野の自然探訪 「善福寺池の四季」第4回	武蔵野三大湧水池の一つである善福寺池の植物を中心とした自然を四季にわたって観察します。第4回春～新緑の木々と草花～コナラ、クヌギ、コブシ、ヤナギなどの若葉や春先の草本の観察 講師:星野義延(元東京農工大学教授) 星野順子(東京環境工科専門学校講師)	4月21日(金) 午後1時30分～4時頃 (集合場所:都立善福寺公園 上の池ボート乗場前)	15名	200円	4月9日(日)

【講座の申込方法】 往復はがきに加え、荻窪地域区民センター協議会ホームページ(<https://ogikubokyougikai.sakura.ne.jp/>)からも申込ができます。応募締切の数日後に結果をご連絡します。(往復はがきでの申込、ホームページでの申込とも応募者多数の場合は抽選です)

- ◆往復はがきの場合(1人1枚) ①希望講座名 ②住所 ③氏名(フリガナ) ④年齢 ⑤電話番号を明記のうえ、荻窪地域区民センター協議会(〒167-0051 荻窪2-34-20)宛申込みください。
- ◆ホームページの場合(1人1件) 受講を希望する講座にアクセスし、フォーマットに沿って必要事項を入力し、申込みください。なお、ホームページの開催案内の掲載開始は、申込締切日の概ね1ヵ月前を予定しています。

開催報告

12月11日(日)開催 「荻窪寄席」

今回で14回目の名物寄席。金原亭馬玉師匠(左)が「代り目」と「大山詣り」の落語二席。聴覚障がいの方にも楽しんで頂けるようにと毎回の字幕付き。字幕と落語断のスピードがほとんどずれない名人芸。曲芸は翁家和助師匠(右)が協議会のスタッフも「出演」させて、巧みな技を披露して客席を大いに沸かせました。



字幕付き落語
金原亭馬玉師匠



スタッフも出演
翁家和助師匠

郷土博物館分館

問い合わせ: ☎5347-9801

西棟1階展示室(分館区民参加型展示)



荻窪の記憶V エピローグ・発展と変貌

「荻窪の記憶」シリーズの締めくくりとして、これまで触れてこなかった地域、戦中・戦後という時間をカバーし、新たな切り口から荻窪の発展を振り返ります。

【開催期間】令和5年1月21日(土)～3月19日(日)

【実施団体】荻窪地域区民センター協議会

- 場 所: 杉並区立郷土博物館分館(杉並区天沼3-23-1 天沼弁天池公園内)
- 開館時間: 午前9時～午後5時
- 休 館 日: 毎週月曜日と第3木曜日(祝日の場合は開館し、翌日休館)
年末年始の休館日(12月28日～1月4日)
- 観 覧 料: 無料

「総集版 荻窪の記憶」発刊予告

第1章 大田黒公園周辺100年の歴史

第2章 天沼100年の歴史

第3章 南荻窪・宮前100年の歴史

第4章 清水・桃井・今川の歴史

第5章 エピローグ・発展と変貌

- ・「荻窪の記憶」写真館
- ・町名の由来と今



本書はこれまでに発刊した「荻窪の記憶」「新版 荻窪の記憶」「荻窪の記憶IV」を第1章～第4章に、現在パネル展示中の「荻窪の記憶V」を第5章に加え、全体を一冊にまとめた、「総集版 荻窪の記憶」です。

- 発刊予定日: 令和5年3月末頃を予定
- 発行: 荻窪地域区民センター協議会
- 仕様: A5サイズ、180ページ(見込み)

※部数・配布方法など詳細は未定です。次号「わたしのおぎくぼ」No.362 4月・5月号(3月14日発行)にてご案内します。

●連載「荻窪の人と集いの場」が始まります

P2に掲載してまいりました「近隣の高等学校訪問」は本号第8回東京都立農芸高校をもって終了させていただきます。取材にご協力いただきました各校の校長先生、副校長先生には厚く御礼申し上げます。

次号からの連載は「荻窪の人と集いの場」がテーマで、第1回は「ゆう杉並」を予定しています。ご期待ください。

*「地域からのお知らせ」のコーナーに掲載したい地域情報がありましたら、センター協議会へFAXでご連絡ください。 FAX番号: 3398-9128

荻窪地域区民センター協議会からのお知らせ

委員会の 日程

2月28日(火) 午後1時～ 会場: 第1・2集会室
3月22日(水) 午後1時～ 会場: 第1・2集会室
※委員会は一般公開です。傍聴を希望される方は事務局までお申し込みください。